

# 平成 29 年度 事業報告

自平成 29 年 4 月 1 日

至平成 30 年 3 月 31 日

## I. 事業概要

大阪府消防協会は、昭和 23 年 3 月 1 日に発足し、これまで消防力の充実強化並びに防火防災思想の普及徹底及び消防団員の福祉増進を図り、大阪の消防の発展に寄与することを目的に事業を行なってきた。公益法人制度の改革により、平成 25 年 6 月 3 日に公益財団法人大阪府消防協会へ移行し発足した後も引き続き、防火防災意識の向上と消防思想の普及促進及び消防機関相互の連携協調を密にし、消防団員等の消防知識技能の向上及び消防団等の活性化を図るとともに社会の災害防止及び公共の福祉増進に寄与するよう様々な事業に取り組んでいる。本事業報告は平成 29 年度に実施した事業について報告をする。

### 1. 公益目的事業 1

防火防災意識の向上及び防火防災思想の普及促進を図り、また、消防団員等の士気の高揚と団結強化を推進する事業を行うことにより、安心・安全なまちづくりに寄与した。

### 2. 公益目的事業 2

府民の生命、身体、財産を火災等から守るとともに各種災害による被害を軽減するため消防技術の向上及び士気の高揚及び消防団等の組織の強化を図る事業を行い、災害等に対して強固なまちづくりの実現に寄与した。

### 3. その他の事業

消防団員等を対象とした表彰事業並びに各種共済事業及び退団時における感謝状等の給付等の事業を行い、消防団員等の業務に対しその功績を顕彰すること、また、福利厚生を充実させることにより、士気の高揚並びに防火意識の向上を図ることに寄与した。

### 4. 法人の運営に関する事業

評議員会・理事会等会議の開催及び運営を行った。

平成 29 年度に実施した各事業の実施状況について以下にその説明及び実績を報告する。

## II. 事業説明及び事業実績

### 1. 防火防災思想の普及に関する事業（公益目的事業1）

(1) 防火啓発グッズ（携帯トイレ・文具）を作成し、消防機関を通じ各種イベントにおいて府民へ随時配布した。

(2) 消防庁、公益財団法人日本消防協会、大阪府と連携し、防火ポスターを配布するなど防火防災思想の普及に努めた。

(3) 防火図画の募集・入賞者の表彰及び防火図画展を開催した。（主催：大阪府、共催：大阪府消防協会、大阪府幼年・少年・婦人等防火委員会）

① 募集者数 15,127 名

② 大阪府消防協会会長賞

入賞者	大阪市立大空小学校	澤田 大知
	交野市立私市小学校	竹並 芹菜
	豊中市立第十三中学校	栗山 剛樹
入選者	泉大津市立穴師小学校	柳 衛汰 他9名

③ 防火図画展（期間及び展示会場）

(ア) 平成30年1月23日（火） : ドーンセンター  
(イ) 平成30年1月31日（水）～2月12日（月） : 津波・高潮ステーション  
(ウ) 平成30年2月15日（木）～2月20日（火） : 大阪市立阿倍野防災センター  
(エ) 平成30年2月22日（木）～3月7日（水） : あべのハルカス タワー館

(4) 支部において、防火図画・習字作品募集を行なったほか、防災イベント等に参加するなど防火防災活動を行った。

### 2. 消防殉職者の慰霊に関する事業（公益目的事業1）

(1) 大阪府消防殉職者遺族会の運営

消防殉職者の遺徳を顕彰し、遺族相互の親睦と情報交換を行った。

(2) 大阪府消防殉職者慰霊祭の開催

殉職された消防職・団員の遺徳を偲び、二度と消防防災活動等による事故を起こ

さないことを決意するとともに、改めて防災意識の喚起を行なう目的で慰霊祭を実施した。

ところ 大阪府立消防学校  
実施日 平成 29 年 11 月 2 日（木）  
参加人員 102 名

### （3）全国消防殉職者慰霊祭への出席

平成 29 年 9 月 14 日（木）に日本消防会館ニッショーホール（東京都港区）で行われた第 36 回全国消防殉職者慰霊祭に御遺族 4 名と参加した。

## 3. 消防団員の教養訓練に関する事業（公益目的事業 2）

### （1）基礎教育の実施

入団 3 年未満及び教育訓練未受講の消防団員を対象に、消防に関する基礎的な知識及び技術を習得し、資質の向上及び士気の高揚を図ることを目的として次のとおり実施した。

研修内容 消防法規、規律訓練、消防操法等  
ところ 大阪府立消防学校及び各市町村

学 校 教 育 実 施 日	支 部 名	市町村教育 実 施 日	修 了 人 数
平成 29 年 5 月 14 日（日） 平成 29 年 6 月 11 日（日）	三島地区支部 豊能地区支部	2 地区支部 合同で実施	75 名 53 名
平成 29 年 5 月 21 日（日） 平成 29 年 6 月 18 日（日）	泉南地区支部 南河内地区支部 中河内地区支部	3 地区支部 合同で実施	23 名 43 名 57 名
平成 29 年 5 月 28 日（日） 平成 29 年 6 月 25 日（日）	泉北地区支部 北河内地区支部	2 地区支部 合同で実施	36 名 50 名

### （2）幹部教育の実施

班長以上の階級にある幹部及び幹部昇進予定者に対して行う幹部として一般的に必要な教育訓練を行なった。

#### （ア）初級指導課程

班長・部長級の消防団員を対象に、消防団の指導的立場に応じた訓練を次のとおり実施した。なお、大阪府立消防学校にて実施を予定していたカリキュラムについては台風 21 号接近のため中止とした。

研修内容 安全管理、訓練礼式等  
ところ 各市町村  
実施日 市町村：年間  
修了人数 3 名

(イ) 現場指揮課程の実施

部長以上を対象に、現場の指揮について実践的な訓練を実施した。なお、大阪府立消防学校にて2日間実施する予定であったカリキュラムは内1日が台風22号接近のため中止としたため平成30年度に実施する。

研修内容 安全管理、水災活動訓練等  
ところ 大阪府立消防学校及び各市町村  
実施日 学 校：平成29年11月19日（日）  
市町村：年間  
修了人数 3名

(ウ) 分団指揮課程の実施

分団長級を対象に、消防団の分団本部等における指揮に関する訓練を実施した。

研修内容 図上訓練、安全管理等  
ところ 大阪府立消防学校及び各市町村  
実施日 学 校：平成30年1月21日（日）  
市町村：年間  
修了人数 64名

(3) 専科教育「機関科」の実施

消防車輛の運行に従事し、若しくは従事する予定の者を対象に、ポンプ車の操作、運用等についての研修を次のとおり実施した。

研修内容 ポンプ車の運用、機関整備等  
ところ 大阪府立消防学校  
実施日 平成29年11月12日（日）  
修了人数 79名

(4) 支部消防総合訓練の実施

消防団員の団体規律の向上を図るとともに消防技術を練磨し消防力を強化するため、消防団員・車輛機械を結集し、支部単位で次のとおり実施した。

訓練内容 団体規律訓練、操法訓練等

実施日	支部名	参加団	参加人員
平成29年7月23日(日)	中河内地区支部	3	220名
平成29年8月6日(日)	南河内地区支部	9	374名
平成29年8月6日(日)	豊能地区支部	5	600名
平成29年8月20日(日)	泉南地区支部	8	350名
平成29年8月20日(日)	三島地区支部	5	275名
平成29年8月20日(日)	北河内地区支部	7	590名
平成29年8月20日(日)	泉北地区支部	5	215名
計		42団	2,624名

(5) 大阪府消防大会の実施

消防団員の団体規律の向上を図るとともに消防技術を練磨し士気の高揚を図り、消防体制を強化する目的により、第 61 回大阪府消防大会を大阪府との共催により、次のとおり実施した。また、府内の消防本部や消防団の協力を得て府民向けの啓発イベントを同会場にて実施した。

- ① と き 平成 29 年 9 月 3 日 (日)
- ② と ころ 大阪府立消防学校
- ③ 参加者及び 44 消防団 (大阪市・堺市災害活動支援隊含む) 団員 972 名  
参加車両 消防自動車等 7 台
- ④ 主要内容 消防操法訓練大会 (実戦放水)、啓発イベント (煙体験、地震体験、防火服着用写真撮影、応急手当体験、熱中症対策講座等)
- ⑤ 操法訓練大会出場消防団 (出場順)
  - (ア) ポンプ車操法の部  
堺市美原、富田林市、寝屋川市、田尻町、高槻市、箕面市、柏原市
  - (イ) 小型ポンプ操法の部  
熊取町、忠岡町、東大阪市、摂津市、太子町、能勢町、守口市
- ⑥ 入賞消防団
  - (ア) 総合優勝 泉南地区支部
  - (イ) ポンプ車操法の部
    - 優 勝 田尻町消防団
    - 2 位 堺市美原消防団
    - 3 位 柏原市消防団
  - (ウ) 小型ポンプ操法の部
    - 優 勝 太子町消防団
    - 2 位 守口市消防団
    - 3 位 熊取町消防団
- ⑦ 操法訓練大会を円滑に実施するため次のとおり会議等を行った。
  - (ア) 操法審査員会議  
と ころ 大阪府立消防学校

第 1 回	第 2 回	第 3 回
平成 29 年 6 月 15 日 (木)	平成 29 年 7 月 19 日 (水)	平成 29 年 8 月 22 日 (火)

- (イ) 操法指揮者会議  
と き 平成 29 年 7 月 14 日 (金)  
と ころ 大阪府立消防学校
- ⑧ 消防操法指導会を次のとおり実施した。  
と ころ 大阪府立消防学校

実 施 日	支 部 名	小型ポンプ操法	ポンプ車操法
平成 29 年 6 月 6 日 (火)	北河内地区支部	守 口 市	寝屋川市
平成 29 年 6 月 7 日 (水)	三島地区支部	摂 津 市	高 槻 市
平成 29 年 6 月 8 日 (木)	豊能地区支部	能 勢 町	箕 面 市
平成 29 年 6 月 9 日 (金)	泉北地区支部	忠 岡 町	堺市美原
平成 29 年 6 月 12 日 (月)	泉南地区支部	熊 取 町	田 尻 町
平成 29 年 6 月 13 日 (火)	南河内地区支部	太 子 町	富田林市
平成 29 年 6 月 14 日 (水)	中河内地区支部	東 大 阪 市	柏 原 市

(6) 全国女性消防操法大会への参加助成

日本消防協会主催の第23回全国女性消防操法大会に大阪府代表で高槻市消防団員が出場するにあたり、その経費の一部を助成した。

と き 平成29年9月30日(土)  
と ころ 向浜運動広場駐車場(秋田県秋田市)

(7) 消防団幹部特別研修への参加

日本消防協会主催の第44回消防団幹部特別研修に1名(中河内地区支部より推薦)を推薦し参加させた。

と き 平成30年1月9日(火)～12日(金)  
と ころ 日本消防会館(東京都港区)

(8) 消防団幹部候補中央特別研修への参加

日本消防協会主催で日本消防会館(東京都港区)にて行われた、第17回消防団幹部候補中央特別研修に次のとおり推薦し参加させた。

① 男性消防団員の部

と き 平成30年1月31日(水)～2月2日(金)  
参 加 者 3名(三島、豊能、泉北地区支部より推薦)

② 女性消防団員の部

と き 平成30年2月14日(水)～16日(金)  
参 加 者 2名(泉北、南河内地区支部より推薦)

(9) 消防大学校団長科入校促進事業の実施

消防団の資質向上を図る一環として、消防団長及び副団長が消防大学校団長科へ入校するための経費を助成した。平成29年度は3名入校した。(71・72期)

#### 4. 消防団活性化に関する事業(公益目的事業2)

(1) 全国女性消防団員活性化大会への参加

第23回全国女性消防団員活性化広島大会に府内女性消防団員を参加させるとともに、その費用の一部を助成した。

と き 平成29年11月16日(木)  
と ころ 広島グリーンアリーナ(広島県広島市)  
主 催 消防庁・日本消防協会・広島県消防協会・第23回全国女性消防団員活性化広島大会実行委員会  
参 加 者 女性消防団員及び消防団幹部 53名

(2) 大阪府消防関係者合同研修会の実施

消防長、消防団長及び府市町村消防関係者を対象に、大阪府内の消防力の強化及び情報交流による活性化を図るため、次のとおり研修会を実施した。

と き	平成 29 年 11 月 30 日 (木)
と ころ	ホテル アウィーナ大阪
主 催	大阪府・大阪府消防協会/ 協 賛 大阪府下消防長会
講 演	「大規模災害に備えた消防防災体制の強化」 総務省消防庁国民保護・防災部防災課 陰山 暁介氏
参加者	87 名 (意見交換会 73 名)

### (3) 消防団員安全管理セミナーの実施

消防団長及び消防団事務担当者を対象に、消防団員の安全管理と健康管理の重要性の認識及び公務災害補償制度の理解を促進し、消防団員全体への啓発普及を図ることを目的として次のとおり研修会を実施した。

と き	平成 29 年 6 月 23 日 (金)
と ころ	KKRホテル大阪
主 催	大阪府消防協会・大阪市町村消防財団・ 消防団員等公務災害補償等共済基金
講 演	「消防団員安全管理セミナー」 消防団員等公務災害補償等共済基金 森方 功氏
参加者	81 名

### (4) 大阪府女性消防団員連絡会議の実施

女性消防団員のかかわる事業の円滑な推進並びに相互の連携・交流を図ることを目的に、各消防団より推薦された女性消防団員の委員による会議を実施した。

と き	平成 29 年 12 月 16 日 (土)
と ころ	国民會館 小ホール
参加者	19 名

### (5) 大阪府若手消防団員研修会の実施

入団概ね 10 年未満の消防団員を対象に、次世代を担う消防団員の活動能力の向上および活性化を図るとともに相互の情報交換を通じて今後の府内消防団の充実発展することを目的として、次のとおり研修会を実施した。

と き	平成 30 年 2 月 4 日 (日)
と ころ	ホテル アウィーナ大阪
内 容	S-KY-T (消防団危険予知訓練) 研修 消防団員等公務災害補償等共済基金 派遣講師 4 名
課題討議	10 名ほどの班にわかれてテーマに沿って討議
参加者	77 名

### (6) ホームページの運用

協会の事業並びに消防団・団員の活動等の PR を積極的に行い、消防団への理解を深めてもらうため、また、防災意識の向上につながるよう情報の提供に努めた。

(7) 消防団資機材整備事業の実施

消防団の装備を充実し地域防災力の強化を図る為、必要な資機材の整備の助成を行なった。

(8) 消防団活動PR事業の実施

年間を通じ、消防団・団員の活動に対する府民の理解促進や消防団の機能強化に向け、大阪府及び市町村と連携しPR活動に取り組んだ。

(9) 自治体消防制度70周年記念式典への参加

昭和23年3月7日に消防組織法が施行され、自治体消防制度が確立してから70周年を迎えることを記念して、日本消防の発展の歩み・消防実技の変遷をたどり、今後の消防の士気高揚を願った記念式典が開催された。府内の消防関係者の大会への参加を促進し、参加に際し大阪府及び参加団体と調整を行った。

と き	平成30年3月7日(水)
と ころ	両国国技館(東京都墨田区)
主 催	総務省消防庁
参加者(府内)	97名

## 5. 調査研究に関する事業(公益目的事業2)

(1) 管外消防事情調査の実施

先進府県の消防団の活動や運営状況等の視察・調査・意見交換等を通じ、情報収集に努め、大阪の消防団の防災力の強化促進に努めた。又、各支部においても同様に実施した。

(2) 近畿地区消防協議会への参画

消防知識技能の向上、消防諸施設の改善充実、消防活動の強化等について協議するとともに、近畿府県の連携や相互の親睦を図るなど各府県の消防協会の発展に寄与するため参画し、次のとおり会議に参加した。

① 春季会長会議

と き	平成29年4月24日(月)
と ころ	シーサイドホテル舞子ビラ神戸(兵庫県神戸市)

② 秋季会長会議

と き	平成29年10月30日(月)
と ころ	ホテル ホップインアミニング(兵庫県尼崎市)

③ 事務局長会議

と き	平成30年2月7日(水)
と ころ	あべのハルカス 会議室



(3) 日本消防協会及び消防関係団体との連絡調整・会議等への参加

名称	と き	と ころ
日本消防協会 評議員会	平成 29 年 6 月 16 日 (金) 平成 30 年 3 月 6 日 (火)	日本消防会館 (東京都港区)
日本消防協会臨時理事会	平成 29 年 9 月 14 日 (木)	
都道府県消防協会事務局長会議	平成 30 年 2 月 27 日 (火)	
ブロック別実務担当者会議	平成 29 年 7 月 11 日 (火)	ホテルブライTONシティ京都山科 (京都府京都市)

## 6. 表彰に関する事業（その他事業）

(1) 大阪府消防協会会長表彰の実施

常に昼夜を分かたず、府民の生命・身体・財産を護る消防団・団員の業務に対し、その功績を讃え顕彰するため、大阪府消防協会表彰規程に基づき会長表彰を行った。

また、昭和 23 年 3 月 1 日に消防協会が設立してから 70 周年を迎えることを記念して、2 世代以上にわたり消防団員として活躍された親子等に会長表彰を行った。

(2) 日本消防協会会長表彰への具申及び表彰式への参加

府内消防団員の日本消防協会会長表彰への具申を行なった。また、日本消防協会主催の第 70 回日本消防協会定例表彰式に出席した。

と き 平成 30 年 3 月 6 日 (火)  
と ころ 日本消防会館 (東京都港区)

(3) 大阪府消防表彰式の実施

消防団・職員及び関係団体の業務に対し、その功績を讃え顕彰するため、大阪府消防表彰式を大阪府と共催により、次のとおり実施した。

と き 平成 30 年 3 月 17 日 (土)  
と ころ エル・おおさか  
受章団体・受章者は次のとおり

① 大阪府消防協会会長表彰

表 彰 旗 太子町消防団  
竿 頭 綬 柏原市消防団  
功 績 章 15 名  
永年勤続章 161 名  
勤 続 章 249 名  
勤 功 章 257 名  
精 勤 章 304 名  
70 周年記念家族表彰 212 家族 453 名

② 日本消防協会会長表彰

表 彰 旗	田尻町消防団
竿 頭 綬	豊能町消防団・熊取町消防団
特別功労章	1 名
功 績 章	11 名
精 績 章	25 名
勤 続 章	90 名

③ 大阪府知事表彰

表 彰 旗	岸和田市消防団
勤続功労章	団員 60 名・吏員 88 名
功 労 章	150 名
一般消防功労表彰	15 名・5 団体

④ 消防庁長官表彰（消防庁長官表彰伝達）

竿 頭 綬	富田林市消防本部・富田林市消防団
功 労 章	吏員 11 名
永年勤続功労章	団員 33 名・吏員 49 名
防災功労者表彰	岸和田市消防団

(4) 永年勤続消防団員退団表彰の実施

大阪府消防協会表彰規程に基づき、勤続 10 年以上の退職する消防団員に対して、永年の功績を讃えるため感謝状の贈呈を行なった。

該 当 団 員 206 名

(5) サンケイ新聞社提唱の「大阪の消防大賞」の表彰の推薦及び表彰式の参加

住民の安全確保のために日夜活躍する消防職・団員の功労を讃えることを目的とした「大阪の消防大賞」の表彰候補の消防団を推薦した。また、次のとおり行われた表彰式に参加した。

と き	平成 29 年 7 月 8 日（土）
と ころ	大阪国際交流センター・大ホール
受 章	消防団員の部（団体）吹田市消防団・交野市消防団 （個人）豊中市消防団 田中副分団長

(6) 支部長表彰の実施

各支部において、優秀消防団員に対し各支部表彰規程に基づき支部長表彰を行った。

受 章 者 361 名

## 7. 福利に関する事業（その他事業）

(1) 消防互助事業の実施

① 弔慰見舞金の支給

消防団員の消防防災業務中の死亡、重度障害、傷痍及び罹災に対し、大阪府消防協会弔慰見舞金支給規程に基づき支給を行なう事務を行なった。

交 付：傷痍見舞金 2 件、罹災見舞金 1 件

② 退団消防団長への感謝状等の贈呈

退職した消防団長に対して、その功績を讃え感謝の意を表するため、感謝状とともに記念品を贈呈した。

該 当 団 長 4 名

③ 記念品の贈呈

褒章を受章した消防団員に対して、その功績を讃え記念品を贈呈した。

藍 綬 褒 章 9 名 (春・秋)

(2) 消防団員の福祉厚生事業の実施

① 消防団員等福祉共済事務

日本消防協会において、昭和 44 年 7 月 1 日から消防団員等の福祉共済制度が設けられ、大阪府内 42 消防団 9,800 名が加入している。その加入に際する事務並びに請求及び交付の手続き事務を行った。

交 付：入院見舞金 69 件・遺族援護金 9 件・生活援護金 1 件

② 消防個人年金事務

日本消防協会において行われている個人年金事業の加入促進等の事務を行なった。

③ 婦人消防隊員等福祉共済事務

日本消防協会において、平成 4 年 4 月 1 日より婦人消防隊員等の福祉共済制度が設けられ、大阪府内 334 名が加入している。その加入に際する事務並びに請求及び交付の手続き事務を行った。

交 付：入院見舞金 2 件・障害見舞金 1 件・弔慰金 1 件

④ 消防育英会事務

消防育英会において行われている、消防活動により殉職又は重い障害が残った消防団員並びに消防職員の子弟に対する奨学金事業の申請等の事務を行った。また、育英会業務運営に協力した。

⑤ 火災共済事務

生活協同組合全日本消防人共済会において行われている火災共済事業の加入促進、また、その加入に際する事務並びに請求及び交付の手続き事務を行った。また、共済会業務運営に協力した。

加入者数：3,721 名

交 付：なし

**8. 法人の運営に関する事業（法人会計事業）**

(1) 評議員会

次のとおり開催され、各案件について決議、承認を得た。

開催年月日	議事事項	会場
平成 29 年 6 月 15 日 (木) (第 1 回)	報告案件 平成 28 年度事業報告について 1 号議案 平成 28 年収支決算 (案) について 2 号議案 評議員の選任について 3 号議案 理事の選任について 4 号議案 監事の選任について	大阪府立消防学校 大会議室
平成 30 年 3 月 22 日 (木) (第 2 回)	1 号議案 平成 30 年度事業計画 (案) について 2 号議案 平成 30 年度予算 (案) について 3 号議案 一時借入金限度額承認等について 4 号議案 年度途中の予算の補正について	KKR ホテル大阪 琴

(2) 理事会

次のとおり開催され、各案件について決議、承認を得た。

開催年月日	議事事項	会場
平成 29 年 5 月 25 日 (木)	報告案件 会長及び業務執行理事の報告について 1 号議案 平成 28 年度事業報告 (案) について 2 号議案 平成 28 年度収支決算 (案) について 3 号議案 評議員候補者の推薦について 4 号議案 理事候補者の推薦について 5 号議案 監事候補者の推薦について 6 号議案 評議員会の開催日程等について	KKR ホテル大阪 瑞宝
平成 29 年 6 月 15 日 (木)	議 案 会長、副会長、常務理事及び代行 順序の選任について	書面
平成 29 年 10 月 19 日 (木)	1 号議案 市町村分担金規程について 2 号議案 平成 30 年度市町村分担金について	KKR ホテル大阪 琴
平成 30 年 2 月 28 日 (水)	報 告 会長及び業務執行理事の報告について 1 号議案 平成 30 年度事業計画 (案) について 2 号議案 平成 30 年度予算 (案) について 3 号議案 一時借入金限度額承認等について 4 号議案 年度途中の予算の補正について 5 号議案 評議員会の開催日程等について	KKR ホテル大阪 瑞宝

(3) 支部長会議

支部との連携を密にし、協会事業の具体的な運営方法等を協議するため、次の

とおり会議を行なった。

開催年月日	会場
平成 29 年 5 月 25 日 (木) (第 1 回)	K K R ホ テ ル 大 阪 瑞 宝
平成 29 年 6 月 15 日 (木) (第 2 回)	大 阪 府 立 消 防 学 校 小 会 議 室
平成 29 年 10 月 19 日 (木) (第 3 回)	K K R ホ テ ル 大 阪 琴
平成 30 年 2 月 28 日 (水) (第 4 回)	K K R ホ テ ル 大 阪 瑞 宝
平成 29 年 11 月 24 日 (金)	書 面

上記のほか、支部長連絡会議を 1 回行った。

(4) 支部内団長会議

各支部において、年間を通じ支部内消防団長による会議を行なった。

(5) 消火栓標識柱の設置に関する事務

消火栓標識柱設置に伴う道路占有許可等に関する諸官庁に対する申請等事務手続きを行なった。

### Ⅲ. 事業報告の附属明細書

平成29年度事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので附属明細書は作成しない。